



令和2年度 水稻生育診断情報 No.5

(令和2年8月21日)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター

近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

(今年度最終情報です)

現在の生育状況

◎8月中旬から高温多照の日が続き、作況調査の「みずかがみ」「コシヒカリ」とも登熟は順調に進んでいる。

「みずかがみ」の成熟期は、出穂が遅れたことから、平年よりやや遅れる見込み。

◎県内ほ場の5月上旬移植「みずかがみ」では、8月24日頃に成熟期を迎える見込み。

管理・収穫のポイント

◎葉色に惑わされず、穂(籾)色をしっかりと確認し、籾黄化率85~90%の時期に収穫する！(刈り遅れによる品質低下に注意！！)

◎根や葉の活力維持のため、収穫5日前まで落水しない！

◎中生・晩生品種では今後も十分な水が必要なので、こまめな水管理を行う！

1 気象の経過と予報

(1) 気象の経過 (彦根気象台観測、平年は過去10年間の平均)

要素		最高気温	最低気温	日照時間	降水量
7月	下旬	かなり低い	低い	かなり少ない	かなり多い
8月	上旬	平年並	やや低い	少ない	少ない
	中旬	高い	かなり高い	かなり多い	かなり少ない

(2) 近畿地方1か月予報【大阪管区気象台8月20日発表】

■近畿日本海側では、天気は数日の周期で変わる。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

■向こう1か月の平均気温は、高い確率70%。

■週別の気温は、1週目は高い確率70%。2週目は高い確率70%。3~4週目は高い確率50%。

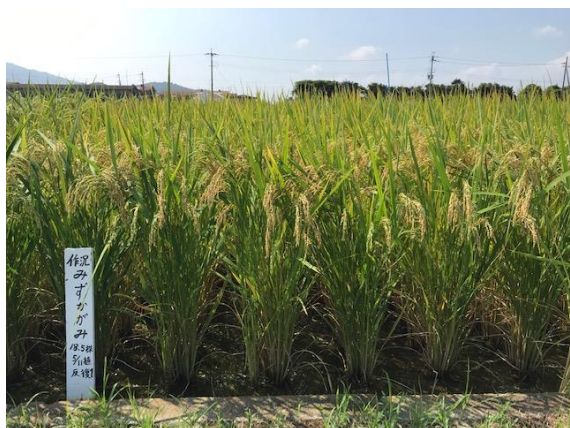
2 生育状況

【農業技術振興センター 水稻作況調査による。表1、表2および後掲グラフ参照。】

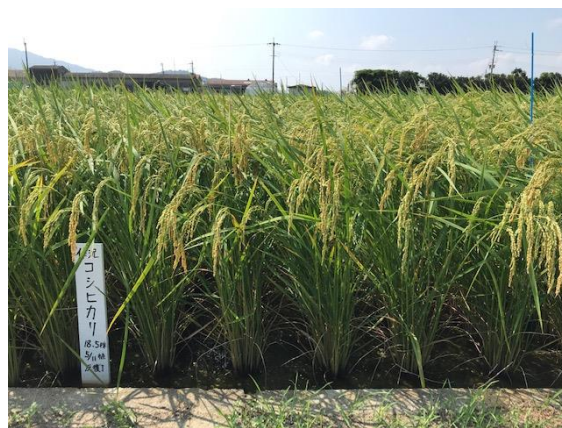
■出穂期は、「みずかがみ」が7月24日(平年より2日遅い)、「コシヒカリ」が7月30日(平年より3日遅い)となった。

■「みずかがみ」の成熟期は、平年よりやや遅れる見込み。

8月19日現在の生育状況



「みずかがみ」
(出穂後 26 日)



「コシヒカリ」
(出穂後 20 日)

表 1 令和 2 年(2020 年)水稲作況調査 生育調査結果

滋賀県農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

基準日 月/日	品種名	草丈(cm)				茎数(本/m ²)				葉色(SPAD 値)				主稈葉数(枚)			
		本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年	本年	平年	較差	前年
6/20	みずかがみ	54.6	44.5	123	45.7	463	545	85	487	43.0	41.3	104	39.3	10.0	9.7	0.3	9.5
	コシヒカリ	55.2	44.6	124	46.5	503	568	89	568	43.2	42.0	103	42.3	9.8	9.4	0.4	9.5
6/30	みずかがみ	64.6	63.9	101	63.0	473	594	80	549	42.6	41.2	103	40.4	11.4	10.9	0.5	10.8
	コシヒカリ	64.7	65.1	99	65.1	544	621	88	633	42.1	41.5	101	41.0	10.8	10.6	0.2	11.2
7/10	みずかがみ	81.8	78.9	104	75.8	453	532	85	450	43.2	40.2	107	40.6	12.7	12.3	0.4	12.2
	コシヒカリ	79.6	80.2	99	79.2	508	572	89	538	40.1	37.4	107	37.8	12.1	11.7	0.4	11.9
7/20	みずかがみ	-	94.0	-	92.0	-	483	-	423	40.4	37.7	107	38.5	13.6	13.2	0.4	12.9
	コシヒカリ	-	93.3	-	89.9	-	505	-	453	40.4	37.7	107	39.1	13.4	13.0	0.4	13.2
7/30	みずかがみ	-	-	-	-	-	-	-	-	41.9	36.5	115	36.7	13.6	13.2	0.4	12.9
	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	41.5	37.8	110	38.9	14.0	13.2	0.8	13.3

※移植日：5月11日(播種日：4月21日)。栽植密度：18.5株/m²、植付本数3本/株。

※平年は、H25～R1年(7年間)の平均値。

表 2 水稲作況調査 生育ステージ

滋賀県農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種：「みずかがみ」

生育ステージ	本年	平年	較差	前年
幼穂形成期	6月29日	6月29日	同日	6月29日
出穂期	7月24日	7月22日	2日遅い	7月23日
成熟期	未	8月24日	-	8月25日

品種：「コシヒカリ」

生育ステージ	本年	平年	較差	前年
幼穂形成期	7月4日	7月3日	1日遅い	7月1日
出穂期	7月30日	7月27日	3日遅い	7月27日
成熟期	未	8月30日	-	8月28日

※移植日は5月11日(播種日：4月21日)。

※平年は、H25～R1年(7年間)の平均値。

3 今後の管理

(1) 適正な水管理

- 登熟期に水が不足すると稲が十分に光合成できず、白未熟粒や胴割粒の発生、籾の充実不足が助長されるため、出穂前後各3週間は常時湛水管理を行う（図1）。
- 落水時期の目安は収穫の5日前であるが、収穫作業に支障がない限り出来るだけ遅らせ、根や葉の活力を収穫直前まで維持させる（図2）。

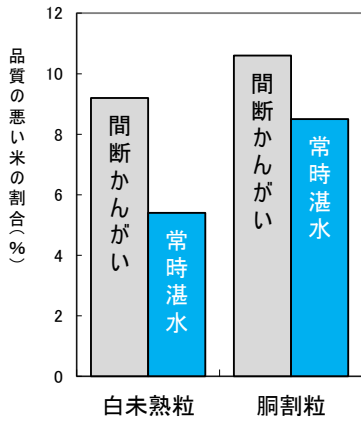


図1 出穂前後の水管理と白未熟粒、胴割粒との関係
(滋賀農技セ 2006年「コシヒカリ」)

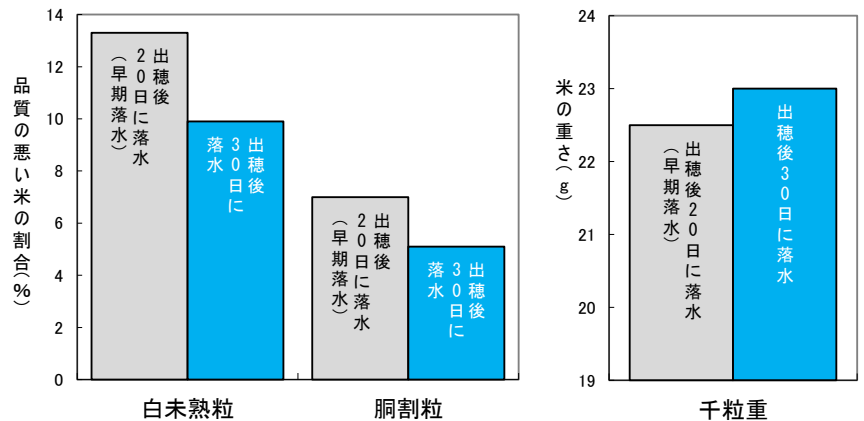


図2 落水時期と白未熟粒、胴割粒、千粒重(米の重さ)の関係
(滋賀農試湖北分場2004年「コシヒカリ」)

↓

出穂前後の常時湛水で
白未熟粒、胴割粒が減ります

↓

収穫直前まで入水すると、白未熟粒、
胴割粒が減り、収量も増加します

(2) 適期収穫

- ほ場内で出穂のばらつきが大きいところは、葉の色が黄化していなくても、籾は先熟している場合があるので、収穫時期が近づいたらほ場に入り、穂(籾)色をしっかりと確認して収穫適期を見極め、刈り遅れないよう注意する。
- 収穫適期は、穂の先端から3~4本目の枝梗につく籾が全て黄化した頃で、籾黄化率85~90%の時期である(目安は、籾黄化率50%程度で収穫7日前)。
- 出穂後の気温が高い年は登熟日数が短くなる傾向にあるので、早生品種(「コシヒカリ」等)だけでなく、中生品種(「秋の詩」等)でも、出穂後30日を過ぎたら収穫できるよう準備を整えておく。

☆過去7年の登熟日数 (水稻作況調査データより)

年次 \ 品種名	みずかがみ	コシヒカリ
H25年~R元年	32~34日	32~37日

【適期収穫のポイント】 ★葉色に惑わされず、ほ場に入って穂をしっかり確認する。

- | | |
|---------|--|
| 収穫適期の目安 | ①穂の先端から3～4本目の枝梗につく籾が全て黄化した頃
②籾黄化率85～90% |
|---------|--|

★収穫7日前の目安：籾黄化率50%程度・・・収穫適期判定板を活用

適期収穫で胴割粒を減らそう！
収穫適期判定板

使い方

- ほ場全体を見て、平均的な場所に入ります。
- 穂に判定板(黄色)の色がついている部分をあてます。
- 黄色く熟した籾(モミ)の割合を見て収穫時期を判断します。(判定板の色は熟した籾の色目安です。)
※黄色に変われずに、籾の緑色をみて判断してください。

特に8月～9月の気温が高くなった場合は要注意

※近年、出穂後(8月～9月)の気温が高く、登熟日数が遅くなってきています(下の表を参照)。
 ※最も短い年は、「コシヒカリ」で30日、「日本晴」で32日、「秋の实」で34日と変わりました(平成28年)

年次	品種名	コシヒカリ	日本晴	秋の实
平成23年～12年		37日 (34～40日)	41日 (34～48日)	—
平成13年～22年 (最近10年間)		33日 (30～37日)	38日 (32～40日)	39日 (34～44日)

近江米振興協会

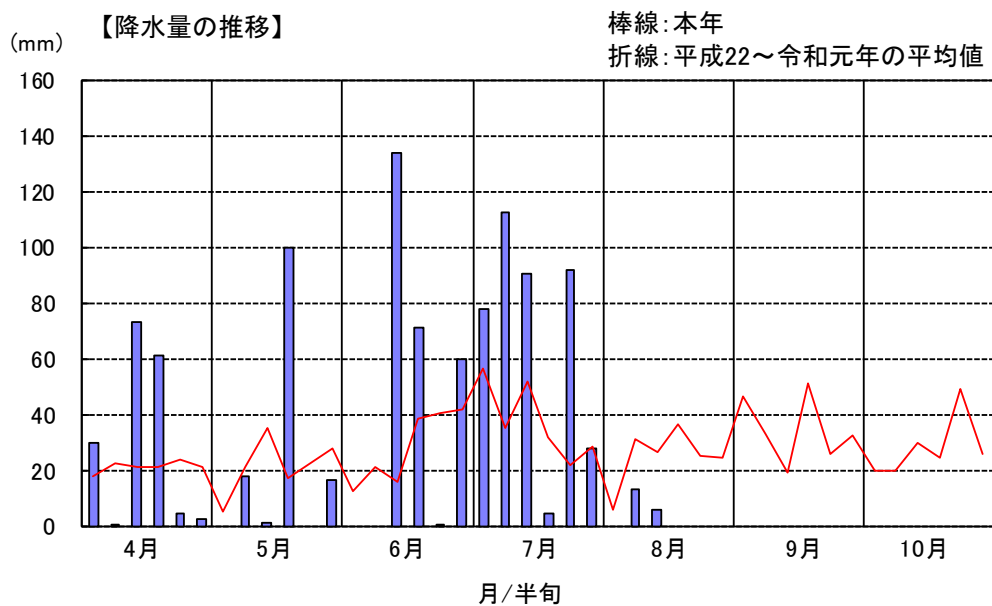
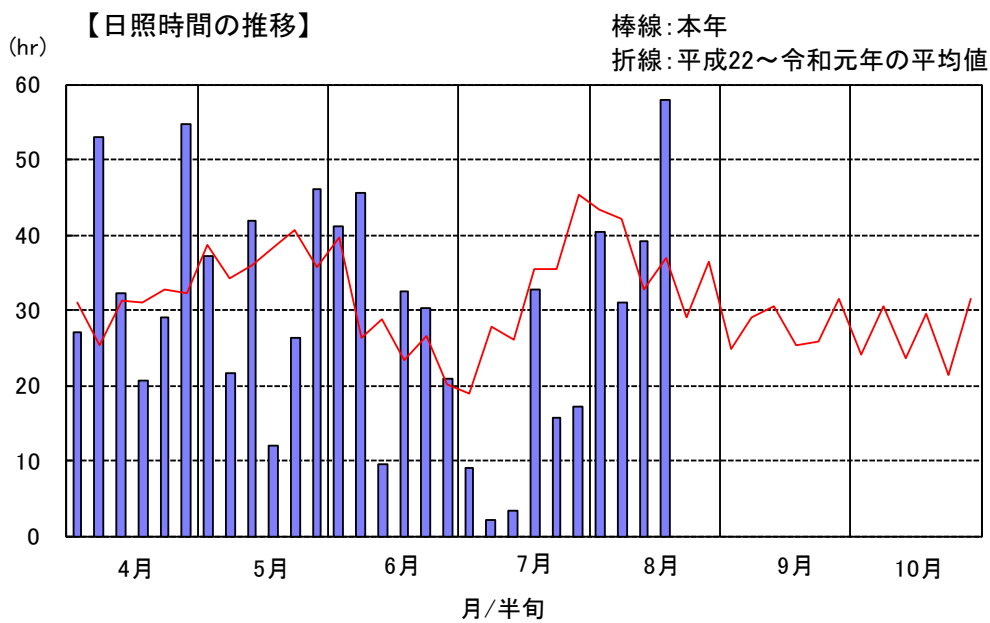
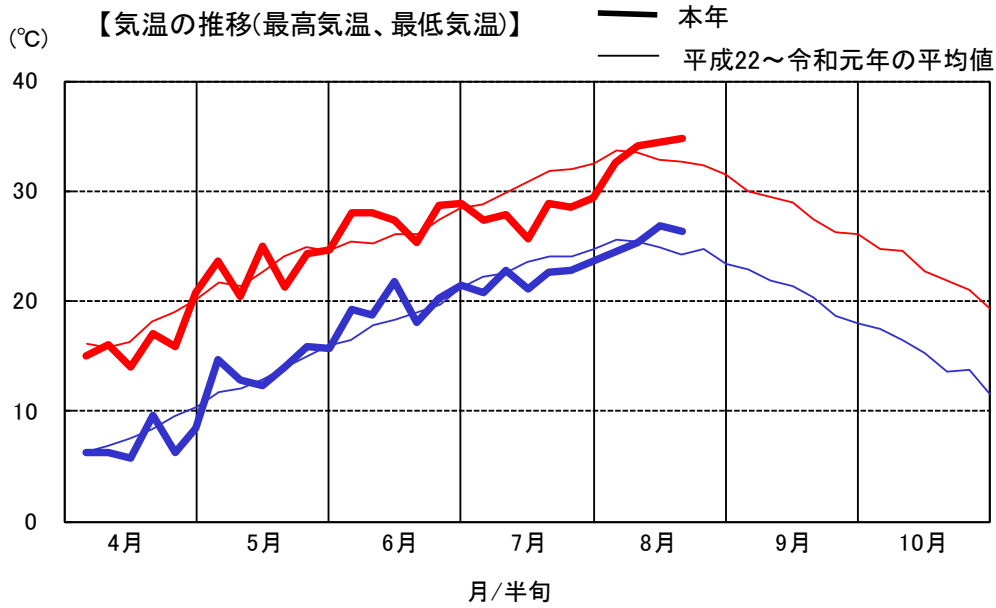


【参考サイト】

農業技術振興センター
 病虫害防除所
 彦根地方气象台
 早期天候情報

<http://www.pref.shiga.lg.jp/g/nougicenter/>
<http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/>
<http://www.jma-net.go.jp/hikone/>
<http://www.jma.go.jp/jp/soukei/>

令和2年(2020年) 水稲作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)



注) 平年は平成22~令和元年の平均値.

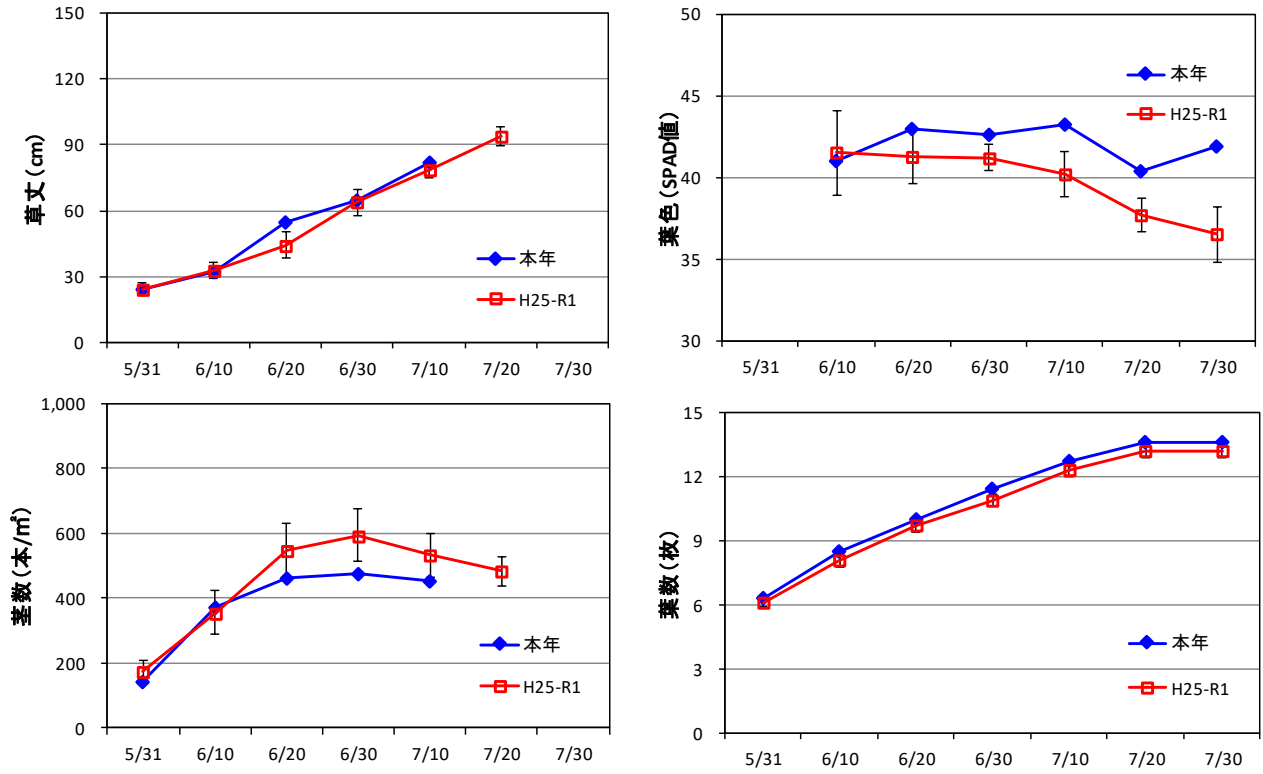
5月,7月,8月,10月の第6半旬の降水量および日照時間は6日間の合計値.

令和2年(2020年) 水稲作況調査 生育調査結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

【みずかがみ】

播種: 4月21日、移植: 5月11日、栽植密度: 18.5株/m²、植付本数: 3本/株



【コシヒカリ】

播種: 4月21日、移植: 5月11日、栽植密度: 18.5株/m²、植付本数: 3本/株

